

保護者様

つくばみらい市立小絹中学校長 会沢 裕之

## 令和7年度第1回学校評価アンケートの結果について

向寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、10月に実施した学校評価アンケートには、たくさんの保護者の方々に回答していただき、ありがとうございました。回答をもとに、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。つきましては、下記の通り報告いたします。

## 記

|                                  | 183名<br>[生徒] | 20名<br>[教職員] | 83名<br>[保護者] |
|----------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| <b>1 確かな学力の向上</b>                |              |              |              |
| (1) 学ぶ中で、もっと知りたいと思うことがある (目標70%) |              |              |              |
| ・とてもあてはまる・あてはまる                  | 62.3%        | 85%          | 45.7%        |
| (2) 主体的に家庭学習に取り組んでいる (目標70%)     |              |              |              |
| ・とてもあてはまる・あてはまる                  | 50.3%        | 20%          | 49.4%        |
| (3) 家庭でしている学習                    |              |              |              |
| ・学校から出された宿題                      | 83.1%        | 75%          | 81.9%        |
| ・テストに備えた学習                       | 63.4%        | 65%          | 54.2%        |
| ・塾から出された課題                       | 49.7%        | 50%          | 54.2%        |
| ・自分で決めた学習                        | 45.9%        | 5%           | 28.9%        |
| ・授業の予習・復習                        | 23.5%        | 10%          | 3.6%         |
| ・その他                             | 0%           | 0%           | 6.0%         |

## 確かな学力のために

ここ数年間、1人1台タブレット端末を授業の中で効果的に活用することができています。情報収集、情報の分析・整理、まとめ・表現、振り返り等で、有効活用しています。また、グループ及びペア等の学習形態を工夫し、自分の意見や考えをアウトプットできるように指導してきました。



家庭学習については、ゲームやスマートフォン等の使用ルールを守りながら、宿題以外にも学習習慣を身に付ける必要があります。学習の基礎・基本を定着させるために、定期テストや実力テスト前の学習だけでなく、日頃の家庭学習について保護者の協力をいただき、手立てを検討し、主体的に家庭学習に取り組むことができるように声かけをしながら指導していきます。



## 2 豊かな心の育成

[生徒]

[教職員]

[保護者]

### (1) 学校生活が充実している。(目標85%)

- ・とてもあてはまる・あてはまる

92.9%

80%

83.1%

### (2) 小絹中学校は生徒の悩みに手助けしている。(目標90%)

- ・とてもあてはまる・あてはまる

57.9%

90%

61.4%

### (3) 手助けの内容

- ・ふだんから声かけ
- ・困っていることを話されたときに相談
- ・学校生活アンケート、その後に相談
- ・校内フリースクール
- ・オンライン相談窓口
- ・スクールカウンセラーと話す時間を確保
- ・分からない

37.2%

75%

30.1%

35.5%

80%

36.1%

31.1%

70%

7.2%

23.0%

80%

18.1%

19.7%

45%

4.8%

12.6%

40%

12.0%

32.2%

5%

34.9%

### 豊かな心の育成のために

教職員は、生徒理解にさらに努めていきます。生徒一人一人の得意分野や成功体験を認め、本人の努力を褒めることを大切にした教育活動を行います。また、係活動や委員会活動等、協力を重視する環境を活用し、生徒同士が互いに認め、支え合うことで、自己有用感・自己存在感の向上を図ります。



生徒が「自分は受け入れられている」と感じられるよう、道徳や特別活動で多様な背景や価値観を尊重する教育活動を行っています。朝の活動や学級活動等で、エンカウンターやソーシャル・スキル・トレーニングを継続して実施していきます。

今後も、スクールカウンセラーなどいくつかの相談の窓口を有効に活用しながら、生徒が困難を抱えた際にはすぐに相談できる体制を作っていきます。



### 3 健やかな体の育成

[生徒]

[教職員]

[保護者]

#### (1) 健康や安全を意識した生活をしている (目標 80%)

・とてもあてはまる・あてはまる 83.1% 80% 79.5%

#### (2) 健康面で、どんなことをしているか。

|                 |       |     |       |
|-----------------|-------|-----|-------|
| ・朝ご飯を食べている      | 88.0% | 75% | 89.2% |
| ・運動をしている        | 66.7% | 65% | 57.8% |
| ・バランスの良い食事をしている | 50.3% | 5%  | 42.2% |
| ・早寝・早起きをしている    | 43.2% | 35% | 45.8% |
| ・情報端末の使用時間を決める  | 22.4% | 5%  | 41.0% |
| ・悩みを人に相談        | 21.9% | 25% | 18.1% |
| ・テレビ、ゲームの時間を決める | 20.8% | 5%  | 21.7% |

#### (3) 安全面で、どんなことをしているか。

|                    |       |     |       |
|--------------------|-------|-----|-------|
| ・交通ルールを守っている       | 90.2% | 85% | 89.2% |
| ・危険を予測しながら         | 55.7% | 35% | 53.0% |
| ・不審者に会った時の対応を考えている | 49.2% | 35% | 41.0% |
| ・災害にあった時のことを考えている  | 37.7% | 30% | 25.3% |

#### (4) 運動に意欲的に取り組んでいるか。(目標 75%)

・とてもあてはまる・あてはまる 76.5% 85% 73.5%

#### (5) どんな運動に取り組んでいるか。

|           |       |     |       |
|-----------|-------|-----|-------|
| ・保健体育の授業  | 77.0% | 85% | 47.0% |
| ・部活動      | 55.7% | 85% | 54.2% |
| ・自分で決めた運動 | 39.9% | 5%  | 21.7% |
| ・クラブチーム   | 27.9% | 60% | 27.7% |
| ・習い事      | 27.9% | 35% | 14.5% |

#### 健康への意識向上のために

朝食は今年度も9割近くの生徒がとっています。各ご家庭が、生徒を手厚くサポートをしている証だと感じます。



また多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいます。保健体育の授業だけでなく、部活動でも積極的に体を動かしています。体育祭や校内駅伝などの体育行事を通じて、スポーツや運動の楽しさを感じ、運動習慣の定着につなげていきます。

睡眠については、早寝・早起きをしていると答えた生徒は40%に留まりました。情報端末やテレビ、ゲームの時間に制限がない生徒もあり、ゲーム機器やスマホの使い過ぎが懸念されます。保護者の方のご協力をいただきながら、学校でも生活習慣の乱れによる健康面への影響を指導していきます。



#### 4 時代の変化に対応できる教育の推進

[生徒]

[教職員]

[保護者]

##### (1) 夢や目標をもって生活している。(目標70%)

・とてもあてはまる・あてはまる 62.8% 70% 56.7%

##### (2) 親子で将来のこと話している。(目標60%)

・とてもあてはまる・あてはまる 61.2% 55% 77.1%

##### (3) 授業や家庭で、学習用タブレット端末を効果的に活用している。(目標80%)

・とてもあてはまる・あてはまる 75.4% 65% 56.7%

#### 時代の変化に対応できる教育の推進のために

Society5.0について学習し、未来の生活の様子をイメージさせることで、これからの仕事に必要なスキルや心構え等を身に付けていけるよう、講演会を実施したり、職業調べや職業体験を授業の中に取り入れたりしていきます。進路説明会や進路講演会を継続して実施し、生徒が保護者と話し合う機会を設けた上で、自分自身の進路を自己決定できるようにします。



第2学年の夏休みから高校見学に参加し、情報収集や体験活動ができるように、情報提供を行っていきます。また、高校を卒業した後の進路や高校進学を選択しない場合の進路にも目を向けることができるようにして、中学校を卒業した後の自分自身の姿を想像できるようにしていきます。今後も、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や姿勢を育んでいきます。

授業で、学習用タブレット端末を効果的に活用するために、学校ではルールを制定し、なぜそれを守らなければいけないのかを考えさせていきます。また、家庭でのルール作りにおいては、親子で話し合う機会を設け、改めて家庭でのルール確認を行っていきます。



## 5 教育支援の充実

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 学校の授業を通して、「分かった!できた!」と実感している。(目標90%)

|                 |       |     |       |
|-----------------|-------|-----|-------|
| ・とてもあてはまる・あてはまる | 84.7% | 85% | 42.2% |
|-----------------|-------|-----|-------|

(2) どんな授業か。

|                    |       |     |       |
|--------------------|-------|-----|-------|
| ・ミニテスト、練習問題        | 59.7% | 50% | 32.5% |
| ・先生の説明             | 52.5% | 40% | 24.1% |
| ・体験を伴う活動           | 48.1% | 70% | 43.4% |
| ・実物が用意されたとき        | 40.9% | 45% | 27.7% |
| ・授業と関連する動画や写真を見たとき | 34.3% | 45% | 34.9% |
| ・生徒が説明するとき         | 23.2% | 35% | 9.6%  |
| ・専門家が説明するとき        | 8.3%  | 15% | 7.2%  |

(3) 生徒の能力に合わせた活動がある。(目標85%)

|                 |       |     |       |
|-----------------|-------|-----|-------|
| ・とてもあてはまる・あてはまる | 69.4% | 85% | 42.1% |
|-----------------|-------|-----|-------|

(4) どんな活動か。

|                |       |     |       |
|----------------|-------|-----|-------|
| ・友達と教え合う活動     | 68.3% | 70% | 32.5% |
| ・教員が生徒にアドバイス   | 36.6% | 55% | 13.3% |
| ・自分でまとめる活動     | 33.3% | 45% | 18.1% |
| ・写真や動画を使った活動   | 27.9% | 50% | 10.8% |
| ・解く問題を生徒が選択できる | 15.8% | 25% | 8.4%  |
| ・活動を生徒が選択できる   | 15.3% | 25% | 8.4%  |
| ・合理的配慮がされている活動 | 10.4% | 35% | 7.2%  |
| ・分からない         | 0%    | 0%  | 56.6% |

### 教育支援の充実のために

生徒の興味関心を高め、自ら進んで学習に取り組む姿勢を育てるために、課題の工夫や定着を図るための練習問題の反復などを行っていきます。また、自分の考えを伝え合う活動や、まとめる活動を多く取り入れ、表現力を高めていきます。



個々の実態に合わせて、生徒が学習内容を選択できる活動を取り入れることで、自己決定できる場面をつくり、思考力・判断力の育成に努めていきます。

今後も ICT を有効活用し、個別最適な学習と協働的な学習を進めていきます。

| 6 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携           | [生徒]  | [教職員] | [保護者] |
|---------------------------------|-------|-------|-------|
| (1) 学校からの情報が伝わっている。(目標 95%)     |       |       |       |
| ・とてもあてはまる・あてはまる                 | 77%   | 95%   | 69.8% |
| (2) 伝わっている内容                    |       |       |       |
| ・次の日の予定や持ち物など                   | 67%   | 35%   | 39.5% |
| ・行事の様子                          | 58.7% | 90%   | 69.1% |
| ・生徒の学校での様子                      | 55.9% | 45%   | 42.0% |
| ・授業の様子                          | 53.1% | 60%   | 19.8% |
| ・成績に関すること                       | 45.8% | 35%   | 51.9% |
| ・学習(宿題、レポート課題)に関すること            | 39.7% | 25%   | 17.3% |
| ・地域のイベントに関すること                  | 20.7% | 60%   | 29.6% |
| ・学校の方針                          | 13.4% | 30%   | 17.3% |
| ・分からない                          | 0.6%  | 0%    | 1.2%  |
| (3) 効果的な手段                      |       |       |       |
| ・スクリーン配信                        | 78.7% | 100%  | 89.2% |
| ・ホームページ                         | 48.1% | 70%   | 53.0% |
| ・スクリーン個人配信                      | 28.4% | 55%   | 33.7% |
| ・面談                             | 16.9% | 40%   | 21.7% |
| ・先生からの電話連絡                      | 8.7%  | 50%   | 19.3% |
| ・家庭訪問                           | 2.7%  | 15%   | 0.0%  |
| ・Google クラスルーム                  | 0.5%  | 0%    | 0.0%  |
| (4) 家庭・地域と連携して教育活動をしている(目標 60%) |       |       |       |
| ・とてもあてはまる・あてはまる                 | 63.4% | 95%   | 72.3% |
| (5) 学校と家庭が連携できていると感じるとき         |       |       |       |
| ・行事への協力                         | 55.6% | 90%   | 68.3% |
| ・学校からの依頼物の提出                    | 24.4% | 25%   | 19.5% |
| ・学校へ相談したとき                      | 16.1% | 55%   | 22.0% |
| ・学校からの相談やお願いをされたとき              | 11.7% | 35%   | 9.8%  |
| ・学校へ意見を伝えたとき                    | 8.3%  | 0%    | 3.7%  |
| ・登下校指導                          | 0.0%  | 5%    | 0.0%  |
| ・分からない                          | 36.7% | 5%    | 18.3% |

## (5) 学校が地域と連携できていると感じるとき

|                    |       |     |       |
|--------------------|-------|-----|-------|
| ・資源回収・除草作業         | 60.7% | 80% | 61.4% |
| ・登下校の様子の見守り        | 39.3% | 70% | 51.8% |
| ・地域の方が学校行事に参加      | 35.0% | 70% | 34.9% |
| ・地域の方がゲストティーチャー    | 22.4% | 45% | 20.5% |
| ・生徒の情報が寄せられるとき     | 20.2% | 35% | 13.3% |
| ・地域のイベントに生徒が参加するとき | 19.1% | 30% | 25.3% |
| ・分からない             | 29.5% | 5%  | 19.3% |



### 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携

スクリーン配信による情報提供が、有効であると考えます。必要な情報が埋もれてしまわないよう、配信日時などを工夫していきます。

コミュニティ・スクールが開設され、教育活動において地域の方々の協力を得る機会が増えました。生徒の安全面・学習支援面・環境整備面において、今後も保護者や地域の方々のお力をお借りして、質の高い学びの実現に向けて努力していきます。また、生徒が地域の活動に関わる機会も検討していきます。

### 問合せ先

つくばみらい市立小絹中学校

教頭 山本 孝子

電話 0297-52-0505